

単元名	ローマ字
-----	------

授業者 吉田 和弘

1. 日時 平成25年11月20日(水) 5校時

2. 学年・組 3学年2組 34名

3. 単元について

(1) 単元目標

日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。

(2) 指導事項 伝統的な文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(ア) 第3学年においては、日常使われている単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

4 評価基準

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・技能
ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。	簡単な単語についてローマ字を読んだり、ローマ字で書いたりしている。(1)ウ(ア)

5 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で元気な児童が多い。また、与えられた課題に対して意欲的に取り組もうとする姿勢がある。授業中は自ら積極的に発言できる児童がいる中で、促されるまで発言しない自分の考えを全体の前ではっきり話すことに抵抗のある児童もおり、多くの授業で発言する機会を設定してきた。読み書きへの関心は比較的高く、文字や言語に興味を持ち取り組んでいるが、一人ではなかなか理解が進まずに支援を必要とする児童も多い。普段から、わからないことをわからないといい、お互いに学び合い高め合うことを大切にするよう声をかけてきた。最近では、少しずつではあるが、教え合う姿が自然に見えるようになってきた。

ローマ字（アルファベット）については、英語の学習で、ゲームなどを通してアルファベットの発音を練習してきたので、A、B、C、D…などは、よく耳にしている。また、グループ分けのときなどに、「A グループ」「B グループ」として、身近なところでもアルファベットはよく使われ、子どもたちに受け入れられている。社会科の学習で、町探検をしながらローマ字で書かれている看板を何気なく見たりマンションのポストに書かれたローマ字を目にしたたりすることも多い。

このように子どもたちは、身近な生活場面でローマ字を多く目にしている。しかし、ローマ字表記の便利さや合理性については意識していないようである。

<視聴覚・情報教育における実態>

本校には、大型テレビ・実物投影機・ノートPCが常時設置されており、主に教師側が授業の中で多用しているので、視聴覚機器を利用することの良さを体験的に感じ取っている。児童は、遠足や町探検の際にデジタルカメラで必要な場所を撮影し、印刷した写真を地図に貼りまとめた。すでにデジタルカメラは身近な道具となっており使うことに抵抗がある児童はあまりいなかった。また教室内では、自分の考えを実物投影機を用いて発表したり、算数ソフトを利用する際に賄やれるマウスを用いて操作をしたりすることで、機器の操作にも慣れつつある。

総合的な学習の時間では、昔のことを主にインタビューや本で調べる活動をしたが、家庭においてインターネットを用いて調べてくる児童も多く、日常生活の中で情報収集におけるインターネットの利便性を知り活用している現状ということがわかる。

なお、キーボード等によるローマ字入力を経験し、すでにローマ字を使える子どもも数名いる。経験による個人差が大きいことが予想される。

6 区視聴覚・情報教育研究部主題との関連

研究主題

「視聴覚機器・情報の活用能力を高める学習」のありかた
～ I C T 教育の環境整備を通して～

<研究仮説>

パソコンを積極的に活用していくための大きな壁になるのが文字の入力である。ローマ字の学習を合わせて、キーボードで入力することを身につけることにより、パソコンを利用する機会が増え、子どもたち自信がパソコンを使う有用性に気づき、情報機器を積極的に活用する姿勢が育つのではないかと考える。

(1) 主題にせまるための手だて

3年生の時点で子どもたちが学校や自宅などの環境で使いやすいのは仮名入力である。そのまま入力できる反面、使用するキーが多く覚えるのは大変である。一方ローマ字入力は、一文字に二文字入力しなければならなかったり、ローマ字そのものを覚えていなければならないという点はあるが、使用数キーが少なくてすむ覚えるのは容易であると言える。

音声入力の精度が上がり、数年後には入力方法はキーボードから変わってしまうかもしれない。ただ、入力方法が変わろうとも、子どもたちが小学校で身につけた情報活用能力は普遍的なものである。研究のねらいは、あくまでも子どもたちに情報活用能力を育てることであり、決してローマ字入力のスキルではない。しかし、ローマ字を活用して、情報を集めたり、編集したり、発表したりすることは、必ずや子どもたちの情報活用能力を高めてくれると考えている。だからこそ、基礎となるローマ字の学習を大切にしていきたい。

(2) 使用する機器・ソフトウェア

大型テレビ 1台

プリンタ 2台

PC 各1台 使用ソフト ジャストスマイル

教員用管理ソフトウェア CCAS

7. 学習指導計画 (6時間 本時6/6)

時	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価規準
1	<p>ローマ字の表し方を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのいろいろなところで使われているローマ字を見つける。 ・ローマ字表から、行と段による読み方を知り、五十音を声に出して読む練習をする。 	<p>○指導上の留意点 ◆評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の表記の国際的な広がりを感じることができるよう写真を提示する。 ・五十音をひとつおき読めるようにするために、一つ一つのアルファベットについて全員で確認する。混乱を避けるために訓令式にしぼって読む練習をする。 ◆ローマ字の学習に興味をもち、探したり、読んで練習したりしている。【関】
2 3 4	<p>ローマ字の書き方を練習しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ローマ字表」を見ながら、五十音の書き方を練習する。 ・ローマ字で日本語を書き表すときの特別なきまりを確認する。 <p>・ローマ字には、書き方が二つあることを、125 ページの表で確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な書き表し方を練習する。 ・自分の名前や学校名をローマ字で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五十音順にひとつおき書けるようにするために、母音から一つ一つのアルファベットについて「ローマ字表」を見ながら練習するように声かけする。 ・特別な表記(濁音、半濁音・長音「[^]」・つまる音・人名の姓・名や地名の書き表し方・つなぎの記号「[~]」「[']」など)は必要に応じて確認する。 ◆ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。【言】 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間目に提示したローマ字に注目し、ローマ字には訓令式のほかに、ヘボン式の書き方があることで、ローマ字の学習を深めることができるようにする。 ◆ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。【言】 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した特別な書き表し方について書いたり声に出して読んだりして、理解できるようにする。 ・自分の名前や学校名をローマ字で書いて名刺作りを通して、大文字や小文字の使い方を理解できるようにする。 ◆ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。【言】

5	<p>パソコン室でローマ字をさがしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを見て気づいたことや発見したことを、ローマ字探しゲームを通して発表し合う。 ・キーボードについて詳しく知る。 ・キーボードを使ってローマ字入力の練習をさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを扱う際に、ホームポジションについて、簡単にふれる。 ・理解することが難しい子どもには個別支援をする。 ・長音はコンピュータ入力とローマ字表記では違うことを知らせる。 ・改行「Enter」や文字消去「Back Space」の方法について知らせる。
6 本 時	<p>キーボード入力を練習しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを使ってローマ字入力の練習をさせる。 ・キーボードで自分の名前と学校名を入力し、名刺をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ローマ字に興味を持ち、名刺を作成しようとしている。【関】 ◆自分の名前や学校名をローマ字で表すことができる。【言】

8. 本時目標

パソコンでのローマ字入力を通して、ローマ字に親しむことができる。

9. 本時展開 (6 / 6 時間)

	活動内容	指導及び支援
導 入	フラッシュカード ローマ字→ひらがな ひらがな→ローマ字 ・ローマ字確認 ・声を出して読む。	(PCの電源を入れておく) 大型テレビの前に集める。 パワーポイントでフラッシュカードを用いてテレビに映す ファイルの配布を行う。
展 開	パソコンでめいしをつくろう 学校名、名前をローマ字で入力する。 説明を聞き操作を理解する 自分の席に移動 名刺制作作業を行う	制作手順の説明 1. ジャストスマイル起動 マイドキュメント内の“めいし”をダブルクリック 2. 図柄の選択 デザイン はいけいをえらぶ 背景一覧より使用するデザインを選ぶ 3. 文字 枠を選択しローマ字で学校名名前を入力 入力モードを英数に切り替える 【半角／英数】 可能なら名前の最初は大文字にする。 Shift を押しながら入力 ローマ字表を掲示しておく。 ローマ字が分からない児童は教科書や事前に記述したノートを見るように促す。 お互いに教え合ってよいことを伝える。 お互いに仕上がりを確認する。 児童 PC の操作を停止する。 テレビの前に集める。

	<p>説明を聞き操作を理解する</p> <p>印刷を行う</p> <p>印刷された用紙を受け取り切り取る</p> <p>データの保存の説明を聞き理解する</p> <p>保存を行う</p>	<p>印刷手順の説明</p> <p>いちらん →えらんだものをまとめてコピー</p> <p>いんさつ →いんさつする</p> <p>注) 押すのは1回だけ!</p> <p>保存手順の説明</p> <p>ほぞん ファイル名に自分の名前を入力 OK</p>
<p>ま と め</p>	<p>めいし交換を行う</p>	<p>名刺交換の説明</p> <p>こんにちは ○○です。よろしくお願ひします。 名刺を渡す 握手</p>